

明けましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしく。

年初早々ですが...
赤字決算は「人並」ではない

所長 長沼 隆夫



(1) 中小企業の 60～70%は欠損会社だといわれています。しかし、これに納得し、あきらめてはいけません。過去の赤字決算の大方は節税の為の過大な役員報酬に基因していました。

(2) 今の時勢では、売上を増やす、以前の売上高に戻すことより、今の売上でも黒字になるような戦略を立てる。粗利益率の良いものをより多く売る、仕入れ単価を下げる、商品ロスを下げる、人員を減らす、人件費を下げる、販売経費を効率良く使う事ではないでしょうか。

(3) 商品毎、得意先別、仕入先別、地域別、現場別、一日毎、月毎、各々の単位別に原価計算、損益計算を実施し、ペイさせる必要があり、どうしてもペイしないものはカットすべきです。
売上中心より効率を考えた経営に切り替えましょう。
大きい事は良い事ではありません。

(4) 企業の大部分は銀行に資金の援助を求めています。企業に、銀行に、チョットした変化、トラブルがあれば、企業は危険にさらされます。会社の資産、個

人財産を換金して、銀行の変化、借替不可の場合等に対応できるよう準備しておきましょう。

(5) 減価償却を満額し、每期黒字で債務超過でない企業は、概ね銀行関係もうまくいき、不安ありません。黒字決算が経営者の最大の努力目標であり、至上命令です。

(6) 熱意、エネルギー、取り組み、可能性は充分あります。何をすれば、こうすれば成功するというものはありません。いろいろ思考し、気力、迫力、熱意をもって実行すれば先は見えてきます。

経営者が心がけることは

健康である事、
個人的責任を感じる事、
誠実である事、
順応性、変化適応性を持ち、
情報をキャッチし、行動する事
見栄やプライドにとらわれず、
必要な変化をする事です。

ありがとうございました。

比較貸借対照表、比較損益計算書を作成しよう



厳しい経済環境の続く中、将来に向けての経営改善を常に検討されている事と思います。検討判断の参考資料として、「比較貸借対照表、損益計算書」を作成しましょう。

将来への、改善のポイントは、過去の実績に在るのではないのでしょうか。決算書は、単なる過去の結果表ではない。その数値の中に、それぞれの企業の特性が表れている。

企業特性を、数値として、正確に読み取ることより、改善項目が明確になるのではないのでしょうか。そこより、将来に向けての改善しておくべき事項が明確化される点が多いと思う。単年の結果だけではわからない点も、連年(10年)の結果を並べることで、数値の変化の理由、将来の傾向、対策の遅れ等が見えることがあると思う。

変化には悪い変化と良い変化がある。傾向があるならそれに向けた対策検討。対策が遅れ気味ならばより性急な対策。必ず読めるはずである。損益傾向だけでなく、貸借対照表の科目残高変化も十分検討しよう。債権回収状況、債務支払状況等、資金回転傾向に問題、改善項目が見える点も多い。

決算書を、年度の結果確認だけに終わらせることなく、時間軸で検証することで、将来への正しい判断資料として活用しよう。

(山崎 和典)

証券税制の改正について

H13年10月1日から、譲渡日において所有期間が1年超の上場株式等について100万円の特別控除の制度が実施されています。

その他にも今後、以下の証券税制改正が実施される予定です。

- 申告分離課税への一本化**
源泉分離選択課税は、H14年12月31日をもって廃止
- 上場株式等に係る税率の引き下げ**
H15年以後に上場株式を譲渡した場合の税率を20%に引き下げ(現行26%)
ただし、H15～17年の間に、1年超保有の上場株式等を譲渡した場合の税率は10%
- 上場株式等に係る譲渡損失の繰越**
H15年以後に上場株式等の譲渡により生じた損失について、翌年以後3年間にわたり、繰越控除が認められる
- 1,000万円非課税**
一定の上場株式等をH17～19年の間に譲渡した場合において、その購入額の合計が1,000万円に達するまでのものに係る譲渡益については、一定の要件で非課税
(安田 龍一郎)

活用できるサイトの紹介

この数年のITの進歩には、めざましいものがあります。皆さまにおいても、インターネット活用は日々の仕事の中に浸透してきている事と思います。各省庁のホームページも、より実用に即した内容に変化しつつありますので、いくつか紹介いたします。

国税庁の路線価図等閲覧

<http://www.nta.go.jp/category/rosenka/rosenka.htm>

各種助成金の最新情報と解説

<http://www.sr-joseikin.com/>

日本経済の数字・データによる動き

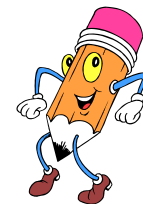
<http://www.amy.hi-ho.ne.jp/umemura/>

公的年金受給額のシミュレーション

<http://www.yomiuri.co.jp/atmoney/simulation/>

(小林 くに子)

編集後記



漠然と一生懸命頑張るのではなく、明確な目標を持つこと。

夢を持つことで、人はどんどん大きくなれる。夢を持つことで、人はたくましくなる。

それが、生きていく一つの喜びとなるように。生きていく支えとなるように。

夢に向かって一生懸命頑張る自分に最大のエールを送って、いよいよ新しい年の始まりです。

(柳井 光雄)